

現状把握に向けた取組の概要

1. 町民アンケート調査の実施案（資料 3 - 1）

■実施目的

調査の目的は、大山崎町の住民の皆様から日常生活の状況や考えをお聞きし、今後の本町の福祉政策を推進していくための資料にするとともに、次期大山崎町地域福祉計画・自殺対策計画策定のための検討資料にすること。

■対象

20 歳以上の大山崎町内の住民

■調査方法

郵送による配布・回収

■実施時期

令和 4 年 8 月～9 月頃を予定

■配布枚数

1,000 件

2. 団体アンケート調査の実施案（資料 3 - 2）

■実施目的

地域における活動団体の担い手を感じている地域福祉に関する課題の把握、他団体等との連携状況の把握

→既存施策・事業、取組みの評価に活用

地域福祉・自殺対策を推進するにあたっての「課題」と「解決策」の整理に活用

■対象

地域団体（自治会・町内会、自主防災組織、長寿会、婦人会、子ども会）やボランティア団体・サークルや地域組織など、地域福祉に関係する団体

■実施方法

郵送による配布・回収

■実施時期

令和 4 年 8 月～9 月頃を予定

3. ワークショップの実施案

■実施目的

地域福祉の担い手や地域住民の方々に、

- 大山崎町における地域福祉を取り巻く現状について知っていただく。
- 地域における福祉に関する課題を整理するとともに、課題解決に関するアイデアなどを整理していただく。

→ワークショップで出された課題や課題解決に関するアイデアなどは、「地域福祉計画・自殺対策計画」の策定にあたっての貴重な情報として活用

■対象

地域における福祉の担い手や地域住民（10人～12人程を予定）

■実施方法

KJ法を用いたグループワーク

■実施時期

令和4年8月～9月頃を予定